報道資料

千葉県

CHIBA

Chiba Prefectural Government

令和８年１月２３日
健康福祉部疾病対策課
０４３－２２３－２５７４

麻しん（はしか）患者の発生について

浦安市在住の 40 代の女性が、令和８年１月 21 日に麻しんと診断され、市川市内の医療機関から市川保健所に麻しんの発生の届出がありました。

当該患者の疫学調査を行った結果、他の人に麻しんを感染させてしまう可能性がある期間（感染可能期間）に、不特定多数の方が利用する施設等を利用していたことが判明しましたので、お知らせします。

今後の更なる感染拡大を防ぐため、予防接種の実施等感染予防に努めてください。

１　感染可能期間（発症日前日の１月 12 日以降）に患者が利用した施設等

利用日	時間帯	利用した施設等
１月 12 日（月）	午後３時半頃～午後５時頃	サイゼリヤ　ニューコースト新浦安店
１月 14 日（水）	午前９時半頃～午前 10 時頃 ①②：滞在時間は５分以内 ③：滞在時間は 10 分以内	①ドラッグセイムス　浦安入船店 ②Seria　モナ新浦安店 ③千葉銀行　新浦安支店（ATM 利用のみ）

※　施設へのお問合せは、御遠慮くださいますようお願いします。
※　現在、上記の施設等を利用しても感染の恐れはありません。
※　接触者が特定できておらず、不特定多数の接触者がいる可能性がある施設については、広く情報提供するため、施設名を公表しています。

２　患者の概要

（１）　基本情報：40 代・女性、浦安市在住　麻しん予防接種歴不明

（２）　症状：発熱、咳、鼻汁、結膜充血、発疹、消化器症状等

（３）　経過等

日付	患者発生の経過等
令和７年 12 月 24 日 ～令和８年１月４日	シンガポール、インドネシアに滞在
１月 13 日	発症（咳、痰）
１月 15 日	浦安市内の医療機関Ａを受診後、同市内の薬局Ｂを利用
１月 17 日、18 日	浦安市内の医療機関Ｃを受診後、同市内の薬局Ｂを利用
１月 20 日	全身性の発疹が出現　浦安市内の医療機関Ｄへ救急搬送 同日、市川市内の医療機関Ｅに紹介入院
１月 21 日	医療機関Ｅにて麻しんの診断、届出 検体（尿、鼻咽頭ぬぐい液、血液）採取 県衛生研究所の遺伝子検査の結果、陽性 浦安市内の医療機関Ｄへ転院

※　行動歴調査等から、特定された接触者については個別に対応を行っています。
※　当該患者は入院医療機関にて加療中であり、快方に向かっています。

■ 県民のみなさまへ

- 麻しんの感染力は非常に強く、感染した場合、更に多くの感染者が発生するなど社会的影響が大きい感染症です。
- 同じ時間帯に利用された方で、利用後 21 日以内（特に 10 日前後）に発熱や発しん等、麻しんを疑うような症状が現れた場合は、事前に最寄りの保健所に電話連絡し、指示に従い、医療機関を受診してください。
- 受診の際は、周囲への感染を広げないよう、公共交通機関等の利用を避けるようにしてください。
- 海外では、東南アジア、中東、アメリカ、アフリカ等の地域で麻しんが流行しています。事前に渡航先での流行状況や感染症情報をよく確認してください。海外旅行等で流行地へ渡航される場合は、ご自身の過去の罹患歴や予防接種歴を確認していただき、必要な検査や事前に予防接種を受けていただくことをご検討ください。また、海外への渡航がない場合でも、麻しんの定期予防接種（第１期：１歳児、第２期：小学校就学前の１年間）をまだ受けていない方は、早めに予防接種を受けましょう。

■ 医療機関のみなさまへ

- 麻しんの感染者が県内や全国で多数報告されています。 麻しんを疑う患者が受診した場合は、予防接種歴の確認や院内感染対策の実施など、麻しんを意識した診療を行うとともに、届出に必要な要件を満たすと診断した場合は、速やかに最寄りの保健所に届出をお願いします。

（参考）

- 厚生労働省　麻しんについて
  https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html
- 厚生労働省検疫所（FORTH）　海外渡航者向け情報
  https://www.forth.go.jp/travel/index.html
- 政府広報オンライン　海外旅行を安全・健康に楽しむために必要な準備と知識
  https://www.gov-online.go.jp/article/202412/entry-6907.html
- 国立健康危機管理研究機構 麻疹 発生動向調査
  https://id-info.jihs.go.jp/relevant/vaccine/measles/060/measlesdoko.html
- 千葉県　麻しん（はしか）にご注意!
  https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/mashin.html
- 千葉県感染症情報センターホームページ
  https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/

【参考】

麻しん（はしか）について

１　症状

・　感染すると通常 10 日から 12 日後に 38℃前後の発熱、咳、鼻汁、くしゃみ、結膜充血などが約２日から４日間続き、解熱後、再び 39℃以上の高熱と発しんが出現します。

・　肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者 1,000 人に１人の割合で脳炎が発症すると言われており、死亡する割合も、先進国であっても 1,000 人に１人と言われています。

２　感染経路

・　麻しんは麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症です。

・　麻しんウイルスの主たる感染経路は空気感染で、その感染力は非常に強く、免疫を持っていない人が感染するとほぼ 100%発症すると言われています。

・　また、発症した人が周囲に感染させる期間（感染可能期間）は、症状が出現する１日前から解熱後 ３ 日間まで（全経過を通じて発熱がみられなかった場合、発しん出現後 ５ 日間まで）といわれています。

３　潜伏期間

約 10 日～12 日間（最長 21 日間程度になる場合もあります。）

４　治療

特異的な根治療法はなく、対症療法を行う

５　予防

・　麻しんは感染力が強く、空気感染もするので、**手洗い、マスクのみで予防はできません**。

・　**麻しんの予防には予防接種が最も有効**です。２回の定期接種を必ず受けましょう。

・　麻しんを発症した場合、学校や職場等で感染を拡大させる恐れがあるため、母子手帳などで予防接種歴を確認し、**定期予防接種を２回受けていない方や予防接種歴が不明な方は、かかりつけ医などに相談の上、接種を検討しましょう**。

６　県内の発生状況（麻しん届出数）

年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
千葉県	3	26	26	0	0	0	1	1	22	1*
全国	186	279	744	10	6	6	28	45	19	4*

＊千葉県の 2026 年は１月 22 日までの届出数

＊全国の 2026 年は国の感染症発生動向調査第３週（1 月 12 日～1 月 18 日）までの速報値